

新しい知を拓き 深い絆で心をつなぐ

# 大河小っ子



小川町立大河小学校  
学校だより 第4号  
令和2年 7月30日  
児童数184(女子93, 男子91)名

〒355-0327 比企郡小川町腰越209 Tel. 0493-72-0068

【学校教育目標】☆自ら学ぶ子(知) ☆やさしい子(徳) ☆たくましい子(体)  
【8・9月の生活目標】「規則正しい生活をしよう」 【年間生活目標】「あいさつをしよう」

文責：校長 大野 陽康

## 楽しく安全な夏休みを

6月1日(月)からの段階的学校の再開で始まった今年度の教育活動でしたが、明日で一応の区切りを迎え、明後日(8月1日)からは夏休みとなります。期間は例年の半分程度(23日間)の日数のため、児童にとっては物足りなさを感じるものとなりそうですが、でも、夏休みは、やはり夏休み、楽しい毎日にできるように過ごしてほしいと思っています。



ところで、このところの報道を見聞きしていると、新型コロナウイルス感染症の感染者数について「過去最多」という表現が使われる地域(埼玉県も含めて)が多くなっています。また、自然災害、特に、大雨による被害も各地で発生しています。日常生活においては自分自身で気を付けていても避けられない危険な場面が多く存在します。児童が安全に夏休みを過ごせるよう御家庭でも見守りと言葉かけをどうぞよろしくお願いいたします。

約3週間後の8月24日(月)、大河小学校184名の児童全員の明るく元気な笑顔が再び学校に揃うことを本校教職員一同、心から楽しみにしています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、充実した日々を過ごされますよう心より御祈念申し上げます。



### ◇ 8月下旬～9月の主な行事予定 ◇

日	曜	学校行事等	日	曜	学校行事等
8月			2	水	身体測定
22	土	PTA環境整備美化作業	3	木	アルミ缶回収(~4日)
24	月	登校開始, B日課3時間授業, 一斉下校	4	金	第1学期通知表配付
25	火	5時間授業, 給食開始	9	水	緑の募金(~10日)
31	月	第1学期終業日	12	土	土曜日授業(B日課3時間), 一斉下校
9月			21	月	祝日:敬老の日
1	火	第2学期始業日, B日課4時間授業 避難訓練・引き渡し訓練	22	火	祝日:秋分の日
			26	土	土曜日授業(B日課3時間), 一斉下校

### ※ 学校閉庁日 8/11(火)~14(金)

この期間、原則として学校は職員不在となります。学校への電話は小川町教育委員会(学校教育課)へ転送されます。

# 学校の新しい生活様式の中での教育活動

## 交通安全教室 命を守るために

2日(木)小川警察署の方に来ていただき、交通安全教室を行いました。1、2年生は横断歩道の渡り方、3～6年生は正しい自転車の乗り方を教えていただきました。



### 自転車安全利用五則

- 1 自転車は車道が原則 歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で車道よりを徐行
- 4 安全ルールを守る
- 5 子どもはヘルメットを着用

「右よし 左よし 右よし！」渡る前の安全確認。横断歩道を渡る時には、高く手を挙げ、自分の存在を車の運転手に知らせます。子供たちは警察署の方の話を真剣に聞き、校庭に用意した特設の横断歩道を渡る練習をしました。



乗る前には、自転車の安全点検「ブタベルサハラ」ブレーキ、タイヤ、ベル、サドル、ハンドル・反射板、ライトの点検をします

## ピースキャラバン



4年生は、埼玉ピースミュージアム(埼玉県平和資料館)の職員を講師としてお招きし、ピースキャラバンを行いました。戦時中の生活や戦争の様子について学びました。太平洋戦争当時の衣服や資料を目の前にして、子供たちは真剣な表情で見入っていました。小学校で子供たちは多くの戦争教材に出会います。3年生国語の「ちいちゃんのかげおくり」、4年生国語の「一つの花」、5年生では沖縄の歴史と暮らしに触れ、6年生では社会「歴史」を通して、戦争そのものがなぜ起こったのか、どうすれば戦争をしなくてすむのかを考えます。平和のありがたさが当たり前になりつつある今だからこそ、再び戦争について学びを新たにしたいものです。

## 青山在来大豆栽培



3年生は、横田農場の横田さんに教えていただき、青山在来大豆の種をまきました。青山在来大豆は、小川町の青山地区が産地で、昔からこの地で受け継がれている在来種です。他の大豆にはない、甘みとうまみを兼ね備えた大豆だそうです。子供たちは、総合的な学習の時間で、地域の農業に目を向け、農業に関わっている人との出会い、触れ合いを大切にしながら主体的に栽培したり、大豆を使っていろいろな物を作ったりする活動を行います。このような活動から、郷土「小川町」を大切に思う心を育てていきたいと思ひます。